

第1章 施設の規模

1 事業目的

本工事は、総務省の令和7年度補正の「ケーブルテレビネットワークの耐災害性強化事業」を活用し、平成19年度にICT交付金事業を活用して整備したHFCケーブルテレビネットワークについて、災害時等の確実かつ安定的な情報伝達の確保及び4K視聴環境の構築に資する観点から、FTTH化を行うことにより耐災害性の強化を図る。FTTH化は3カ年での更新計画としており、2年目となる本工事は、門前地域の門前・本郷・浦上・七浦・西保地区と輪島地域の河原田・三井地区の更新を行う。

なお、4Kの配信計画としては、最終年度となる令和9年度で自主放送コミュニティチャンネルを4K配信の対応するものとする。

また、本工事は「週休2日工事（現場閉所）」の対象工事となるため、いしかわ週休2日工事（農林水産部版）実施要領の規定に基づくものとする。

2 事業名

令和7年度 ケーブルテレビネットワークの耐災害性強化事業
輪島市ケーブルテレビ施設FTTH化整備工事（第2期）

3 事業概要とシステム概要

（1）主な整備内容

システム構成はPDS方式による1芯1波FTTHシステムとする。

ア 伝送路設備

センター・サブセンターから加入者宅まで放送信号（自主放送・地上波テレビ放送）を伝送するための線路設備である。光ファイバーケーブル、幹線・分岐クロージャ、カプ拉克ロージャ、引込材料等で構成される。

また、センターと門前サブセンター間の局間連絡線（新規ルート）の整備も行う。

イ 送受信装置

電気信号を光信号に変換又は光信号を電気信号に変換する装置である。センター・サブセンターに設置する放送系光送出設備、加入者側に設置する光受信端末（V-ONU）で構成される。

ウ 電源設備

停電時に機器を保護する装置である。非常用発電機が稼働するまでのバックアップ用となる無停電電源装置で構成される。

エ 監視制御・測定装置

各種送出設備の監視システム、伝送路施設監視システム、光ファイバ線路監視装置で構成される。

オ ヘッドエンド装置

地上波デジタルテレビ放送の再送信設備、自主放送（既設）の取込・接続用の設備で構成される。

カ 共架・添架申請

既設メッセンジャワイヤーにF T T H用の光ケーブルを添架するために必要となる、共架・添架申請書（変更申請）の作成及び提出で構成される。

キ 撤去工事

既設H F C設備（センター設備、伝送路設備、引込設備）の撤去で構成される。

（２）提供サービス

ア センター・サブセンターから映像信号を受信する。

地上デジタル放送（パススルー）

イ 自主放送

ウ F M放送

N H K－F M、F M石川

（３）工事場所

F T T Hヘッドエンドシステム設置場所

ア センター（輪島市役所本庁） 石川県輪島市二ツ屋町２－２９

イ サブセンター（門前総合支所） 石川県輪島市門前町走出６－６９

（４）工事範囲

本仕様書及び特記仕様書等に基づく、放送系センター設備（電源設備含む）、伝送路設備関連工事一式で、機器の据付・調整・総合接続試験に関連する諸試験や検査及び運用教育並びに本工事完成までに必要な関係諸官庁・電力会社等への提出書類の作成を含むものとする。

また、本工事は総務省補助金を活用して構築するものであるため、実績報告書の提出も含むものとする。